

街びらきイベント「MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 MIRAI FES」を開催

～約 3,000 名来場、テナント企業等 8 団体参加～

三井不動産株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊、以下「三井不動産」)と日鉄興和不動産株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:三輪正浩、以下「日鉄興和不動産」)は、2024年10月26日(土)に、「MFLP・LOGIFRONT 東京板橋(以下「本施設」)」にて、街びらきイベント「MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 MIRAI FES(以下「MIRAI FES」)」を開催いたしました。

「MIRAI FES」は地域に根差し開かれた物流施設を目指し、地域住民の方々に本施設の緊急一時退避場所としての役割や物流の仕事について楽しみながら知っていただくことを目的に開催いたしました。普段見ることのできない倉庫内見学ツアーやテナント企業ご協力のトラックドライバー体験など幅広いコンテンツを展開し、周辺地域の方を中心に約 3,000 名の方に来場いただき、地域一体となったイベントとなりました。

また、本施設は、ドローン実証実験の場「板橋ドローンフィールド(以下「板橋 DF」)」を併設しており、産官学の多様なプレイヤーとの連携によりドローン産業のオープンイノベーションを推進しています。「板橋 DF」の施設監修・運営を担うブルーイノベーション株式会社による、お子さま向けのドローン操縦体験会では、自らドローンを操縦する体験を通じて、本施設から新しい技術が創造されていくことに期待の聲が寄せられました。

フットサルコートとしても使用可能なドローンネットフィールドでは、公益財団法人日本サッカー協会(所在地:東京都文京区、会長:宮本恒靖)の後援のもと、元サッカー日本代表中澤佑二さんをコーチに迎え約 60 名の小学生を対象にサッカー教室を開催しました。中澤佑二さんのプレーを目に前に、参加者は熱心に練習に取り組んでいました。

三井不動産と日鉄興和不動産は、今後も「街づくり型物流施設」の開発を推進し、広場等の整備や地域の防災拠点・交流の場の設置、地域交流イベントを開催する等、街の暮らしを豊かにする取り組みを続け、地域社会との共生に取り組んでまいります。



当日の様子(わくわく広場)



ドローン操縦体験会

MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 MIRAI FES の様子



元サッカー日本代表 中澤佑二さんによるサッカー教室



企業ブースゾーンの様子



地元飲食店も出店した飲食ブース



施設見学ツアーの様子(板橋区災害時配送ステーション)

MFLP・LOGIFRONT 東京板橋 MIRAI FES 概要

- 開催日時 2024年10月26日(土) 10:00~16:30
- 開催場所 MFLP・LOGIFRONT 東京板橋
- 主催 三井不動産株式会社、日鉄興和不動産株式会社
- 後援 板橋区、日本サッカー協会
*三井不動産はサッカー日本代表を応援しています。
- 協力 ヤマト運輸株式会社、株式会社丸和運輸機関、ブルーイノベーション株式会社、KDDI スマートドローン株式会社、警視庁志村警察署、東京消防庁 志村消防署

■MFLP・LOGIFRONT 東京板橋について

三井不動産と日鉄興和不動産で共同開発を行い、2024年9月30日に竣工した東京都内最大級の街づくり型物流施設です。板橋区とともに河川氾濫等の水害に強い高台まちづくりを実施し地域防災に貢献しているほか、約25,000㎡の緑地エリアやボーンレンド監修遊具を設置した広場など地域に開かれた物流施設を目指しています。

参考リリース：https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2024/1002_01/

【各社概要】

■三井不動産の物流施設事業について

三井不動産は、2012年4月に物流施設事業部(現 ロジスティクス本部)を立ち上げ、物流施設開発に取り組んでおります。現在では、「三井不動産ロジスティクスパーク(MFLP)」を旗艦ブランドとして、「MFLP 船橋Ⅰ」や「MFLP 海老名Ⅰ」など、国内外で開発施設 76 物件(国内:66 物件 海外:10 物件)を展開しております。「ともに、つなぐ。ともに、うみだす。」を事業ステートメントとして掲げ、入居企業の皆さまの課題解決パートナーとして、多種多様なヒト・モノ・コトをつなげること、既存の枠にとらわれない価値づくりに挑戦してまいります。

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/>

■日鉄興和不動産の物流施設事業について

日鉄興和不動産は、日本製鉄やグループ会社の工場周辺を中心に、2018年4月にロジフロント事業推進部を立ち上げ、ビル事業、住宅事業に次ぐ当社の中核事業として、首都圏、中部圏、近畿圏を中心に物流施設開発に取り組んでおります。現在では、『LOGIFRONT(ロジフロント)』を旗艦ブランドとして、「LOGIFRONT 越谷Ⅰ」や「LOGIFRONT 尼崎Ⅱ」など、お客さまのニーズに寄り添った先進的な物流施設を展開しております。「MFLP・LOGIFRONT 東京板橋」での実績も踏まえて今後は、さまざまな企業ニーズに応えながら、物流施設開発にとどまらず、クレーン付倉庫、危険物倉庫、冷凍冷蔵倉庫、R&D、産業支援施設、データセンターなど産業用不動産事業にも積極的に取り組んでいきます。

・日鉄興和不動産の物流施設「LOGIFRONT(ロジフロント)」HP:<https://logifront.nskre.co.jp>

【SDGsについて】

2015年の国連サミットで採択された2030年に向けての国際目標「SDGs:持続可能な開発目標」。17の目標と169のターゲットが定められており、様々な主体の連携による取り組みが必要となっております。

* 本レターの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における2つの目標に貢献しています。

